平成 28 年度 国指定円山川下流域鳥獣保護区GIS区域図作成 並びに既存資料の収集整理業務

報告書

平成 29 年 3 月

環境省 近畿地方環境事務所

目 次

7. 来	9就要	. 1
1.1	\$概要 業務目的	.1
1.2	業務名称	.1
1.3	業務期間 業務期間	.1
1.4	業務場所	.1
1.5	業務項目	.1
1.6	業務発注者	.1
1.7	業務受注者	.2
2. 既	字資料の収集整理	.3
	既存資料の収集	
2.2	整理方法	.3
2.3	整理結果	.4
	S区域図の作成2	
3.1	収集した図面	22
3.2	作成したGIS区域図	22

1. 業務概要

1.1 業務目的

兵庫県豊岡市を流れる円山川の流域は、豊かな自然が現存し、周辺には水田地帯が広がっている。この円山川流域のうち「円山川下流域・周辺水田」は、コウノトリの重要な生息地として、国指定鳥獣保護区に指定されているとともに、平成24年7月にはラムサール条約湿地に登録されている。

しかし、現在、既存区域の国指定鳥獣保護区の区域境界線を大縮尺で詳細に確認できる図面が存在しない。今後、鳥獣保護区内での許可申請等があった場合に、正確な境界線を確認できなければ業務上の支障が生じる。また、来年度には、コウノトリの個体数の増加に伴い、当該エリアの上流域を新たに国指定鳥獣保護区及び特別保護地区に指定する予定であり、その手続きを進める際に図面は有効に活用できる。

また、国指定円山川下流域鳥獣保護区の拡張に伴い、鳥獣保護区内の管理指針となるマスタープランを策定する予定である。策定の前段階として、関係行政機関が区域内でどのような管理及び整備方針を計画しているのか整理する必要がある。

上記の現状を踏まえ、本業務は、新たに指定する区域も含めた国指定円山川下流域鳥獣保護区の今後の管理に必要な資料として、GIS区域図を作成すること及び既存資料を収集・整理することを目的とした。

1.2 業務名称

平成 28 年度国指定円山川下流域鳥獣保護区GIS区域図作成並びに既存資料の収集整理業務

1.3 業務期間

自 平成 29 年 3 月 1 日 ~ 至 平成 29 年 3 月 30 日

1.4 業務場所

兵庫県豊岡市周辺

1.5 業務項目

(1) 業務打ち合わせ 2回

業務着手時: 平成29年3月14日 成果物とりまとめ時: 平成29年3月30日

- (2) 既存資料の収集整理 一式
- (3) GIS区域図の作成 一式
- (4) 結果のとりまとめ 一式

1.6 業務発注者

環境省 近畿地方環境事務所



1.7 業務受注者

復建調査設計株式会社 神戸事務所 所長 安倍政勝

○営業担当 神戸事務所 営業課 瀬尾昭廣

TEL (078) 241-5045

●業務担当 広島本社 環境部 生物環境課

広島市東区光町2丁目10番11号

TEL(082)506-1837 FAX (082) 506-1892

管理技術者:竹下邦明(技術士【建設部門:建設環境】、【水産部門:水産水域環境】)

担当技術者:若宮慎二(技術士【建設部門:建設環境】、2級ビオトープ計画・施工管理士)

梅本章弘(2級ビオトープ計画管理士)

二神良太(自然再生士補)

2. 既存資料の収集整理

2.1 既存資料の収集

国指定円山川下流域鳥獣保護区のマスタープラン作成にあたり、鳥獣保護区に関連する関係行政機関(国土交通省、兵庫県、豊岡市及びこれらが構成員に含まれる委員会等)が策定した自然環境保全、自然資源等の利活用に関係する各種計画・方針等を収集した。収集した計画・方針等は表 2.1.1 及び資料編に示すとおりである。

策定年月 名称 策定者 コウノトリ野生復帰推進計画 平成 15 年 3 月 コウノトリ野生復帰推進協議会 国土交通省近畿地方整備局、 円山川水系自然再生計画書 平成17年11月 兵庫県 豊岡市コウノトリと共に生きるまちづ 平成18年12月 豊岡市 くりのための環境基本条例 豊岡市環境基本計画 平成 19 年 4 月 豊岡市 豊岡市都市計画マスタープラン 平成 20 年 3 月 豊岡市 コウノトリ野生復帰推進計画(2期) 平成 24 年 3 月 コウノトリ野生復帰推進計画策定委員会 コウノトリ野生復帰グランドデザイン 平成 23 年 8 月 兵庫県立コウノトリの郷公園 豊岡市生物多様性地域戦略 平成 25 年 9 月 豊岡市

表 2.1.1 収集した各種計画・方針等

2.2 整理方法

収集した資料の中から、自然環境保全や自然資源等の利活用に関する記述を抽出し、箇条書きで整理した。また、参照しやすいように記載ページ等を追記した。

①円山川周辺、②田結地区、③気比・畑上地区、④楽々浦地区、⑤戸島地区、⑥桃島地区、⑦立野・梶原・百合地・河谷・中谷地区、⑧倉見・伊豆・安良地区、の8地域について、関係する情報を整理した。



2.2.1 円山川周辺

自然環境保全や自然資源の利活用について策定されている計画や方針のうち、「円山川周辺」 に関連する情報は、表 2.2.1 のように抽出された。

なお、「円山川水系自然再生計画」で計画されている整備内容及び整備箇所は、図 2.2.1 のように整理される。

表 2.2.1(1) 「円山川周辺」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境整備	環境創造型農業の面的拡大が、地域農業の 活性化を図ると同時に、コウノトリも住め る環境の整備に大きく貢献する。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P21
環境整備	転作田の常時湛水によるビオトープ化と 稲作栽培体系を常時湛水化(冬季湛水・中 干し延期型)に誘導することにより、水田 の餌場としての機能を増進する。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P27
環境整備	コウノトリと人が共生する環境づくりを 目指した取り組みの中で、円山川におい て、自然再生のモデル地区の整備(湿地、 遊水地等)を行う。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P31
利活用	主要河川の流域区分ごとにモデル地区を 設定し、流域の人々にとってわかりやすい 目標と目標達成に向けた取り組みを検討 し、地域住民や各種団体の参画と協働のも と環境保全・創造活動を推進する。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P32
利活用	コウノトリの野生復帰に向けて、コウノト リの絶滅・保護増殖の経緯や野生復帰に向 けた環境整備等の取り組み等を、県内外に 周知を図り多くの人たちに理解を得ると ともに、参画と協働により事業の推進を図 ることが不可欠である。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P35
環境保全 環境整備	水際部を水平、あるいは緩い勾配で掘削、 造成することによって、湿地及び環境遷移 帯を再生・創出する	円山川水系自然再生 計画書	P10
利活用	人と河川の関わりの保全・再生・創出をテーマに、「環境学習拠点の整備」及び「身近な川の再生」を行う。整備後はこれを活用しながらさまざまな活動を通じて身近な川に生息・生育する生物を知り、また、地域や学校と連携した取り組みによって河川愛護意識の啓発を目指す。	円山川水系自然再生 計画書	P12
環境保全	市民、事業者、来訪者及び市は、環境の保全に関し自主的に及び地域等において相 互の協力し、それぞれができることに取り 組む	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第4条



表 2. 2. 1(2) 「円山川周辺」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境保全	自然的資源、文化的資源及び歴史的資源に 関する理解を深めることにより、それらを 良好な状態で保全する。	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条1項
環境保全	良好な自然環境を保存、再生及び創造する ことにより、人と生きものが将来にわたっ てバランスよく共生するまちづくりを推 進する。	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条2項
環境保全	市民、事業者及び市が連携して資源の無駄 遣いをなくし、循環型のまちづくりを推進 する	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条3項
環境保全	子どもたちに環境の大切さを伝えるとと もに、市民及び事業者の環境に関する意識 を高めることにより、環境にやさしい人づ くりを推進する	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条4項
環境保全	環境の保全に関する活動と経済活動の共鳴を図ることにより、環境の保全に関する活動を持続的に推進する	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条5項
環境保全	前各号に掲げる事項その他環境の保全の ために必要な事項を推進することにより、 地球環境の保全に貢献する	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条6項
環境保全	川や海などの水辺環境を保全します。 (たくさんの魚や水生昆虫・貝などがいる 水辺(川辺・海辺)の保全)	豊岡市環境基本計画	P45
環境保全	生きものがバランス良く生息する自然環境を保全します。 (それぞれの生きものがその生きものらしく生息できる環境の保全、放鳥されたコウノトリの受け皿づくり)	豊岡市環境基本計画	P47
環境保全	環境に関する知の集積を図ります。 (先駆的な研究の促進)	豊岡市環境基本計画	P53
利活用	環境と経済の共鳴を進めます。 (コウノトリツーリズムの展開、環境経済型企業の集積)	豊岡市環境基本計画	P55
環境保全環境整備	コウノトリも住める環境の保全と創出 (農地保全、環境にやさしい農業の推進、 河川[円山川、気比川、今津川等]の河川環 境整備)	豊岡市都市計画マスタープラン	P67

表 2.2.1(3) 「円山川周辺」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境整備	自然と共生する河川の整備 (河岸湿地の質的改善)	コウノトリ野生復帰 推進計画(2期)	P37∼P38
環境整備	餌環境の構造改善 (河川から水田までの連続性確保と餌生 物の生息環境整備、湿地生態系の保全。再 生)	コウノトリ野生復帰 グランドデザイン	P21
環境保全利活用	多様な生きものが住みやすい環境を増や します。 (コウノトリの生息地保全の推進、ラムサ ールエリアの活用、外来種対策、希少種保 護)	豊岡市生物多様性地 域戦略	P32、P39∼P45

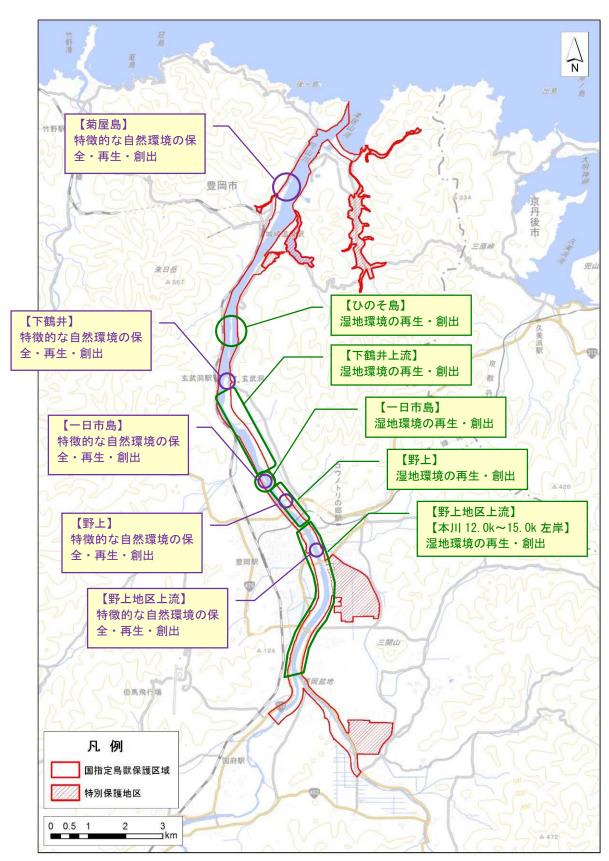


図 2.2.1 「円山川水系自然再生計画」で計画されている整備箇所及び整備内容

2.2.2 田結地区

自然環境保全や自然資源の利活用について策定されている計画や方針のうち、「田結地区」に 関連する情報は、表 2.2.2 のように抽出された。

表 2.2.2(1) 「田結地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境整備	環境創造型農業の面的拡大が、地域農業の活性化を図ると同時に、コウノトリも住める環境の整備に大きく貢献する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P21
環境整備	転作田の常時湛水によるビオトープ化と稲作栽培体系を常時湛水化(冬季湛水・中干し延期型)に誘導することにより、水田の餌場としての機能を増進する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P27
環境整備	森林の広がり、森林の連続性、モザイク状態、 構成樹種の多様性、階層構造、営巣木の確保 などに配慮した里山林の整備を目指す必要 がある。	コウノトリ野生復帰推進計画	P33
利活用	コウノトリの野生復帰に向けて、コウノトリの絶滅・保護増殖の経緯や野生復帰に向けた環境整備等の取り組み等を、県内外に周知を図り多くの人たちに理解を得るとともに、参画と協働により事業の推進を図ることが不可欠である。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P35
環境保全	市民、事業者、来訪者及び市は、環境の保全 に関し自主的に及び地域等において相互の 協力し、それぞれができることに取り組む	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第4条
環境保全	自然的資源、文化的資源及び歴史的資源に関 する理解を深めることにより、それらを良好 な状態で保全する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条1項
環境保全	良好な自然環境を保存、再生及び創造することにより、人と生きものが将来にわたってバランスよく共生するまちづくりを推進する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条2項
環境保全	市民、事業者及び市が連携して資源の無駄遣いをなくし、循環型のまちづくりを推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条3項
環境保全	子どもたちに環境の大切さを伝えるととも に、市民及び事業者の環境に関する意識を高 めることにより、環境にやさしい人づくりを 推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条4項
環境保全	環境の保全に関する活動と経済活動の共鳴 を図ることにより、環境の保全に関する活動 を持続的に推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条5項



「田結地区」に関係する自然環境に係る計画等 表 2.2.2(2)

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
	前各号に掲げる事項その他環境の保全のた	豊岡市コウノトリと共	
環境保全	めに必要な事項を推進することにより、地球	に生きるまちづくりの	第5条6項
	環境の保全に貢献する	ための環境基本条例	
環境保全	森林を保全し、活用します。(地元の木を使		
環境整備	った家・ものづくり、針葉樹と広葉樹の混交	豊岡市環境基本計画	P44
	林整備)		
	川や海などの水辺環境を保全します。		
環境保全	(たくさんの魚や水生昆虫・貝などがいる水	豊岡市環境基本計画	P45
	辺(川辺・海辺)の保全)		
	生きものがバランス良く生息する自然環境		
	を保全します。		
環境保全	(それぞれの生きものがその生きものらし	豊岡市環境基本計画	P47
	く生息できる環境の保全、放鳥されたコウノ		
	トリの受け皿づくり)		
環境保全	環境に関する知の集積を図ります。	 豊岡市環境基本計画	P53
探境怀王	(先駆的な研究の促進)	豆岡川塚児巫平町岡	1 00
	環境と経済の共鳴を進めます。		
利活用	(コウノトリツーリズムの展開、環境経済型	豊岡市環境基本計画	P55
	企業の集積)		
	コウノトリも住める環境の保全と創出		
環境保全	(農地保全、環境にやさしい農業の推進、河	豊岡市都市計画マスタ	P67
環境整備	川[円山川、気比川、今津川等]の河川環境整	ープラン	101
	備)		
	環境創造型農業等の推進		
環境保全	(営巣地近辺へのビオトープ配置、コウノト	コウノトリ野生復帰推	P35
垛塊床土	リ育む農法等の生きものに優しい安全、安心	進計画(2期)	199
	な米作り、マルチトープの活用)		
環境整備	水系から水田等への連続性の確保	コウノトリ野生復帰推	P36
來免走师	(水田魚道の設置、水田魚道の管理)	進計画(2期)	1 30
	自然と共生する里山林の整備		
環境整備	(森林の広がり、森林の連続性、モザイク状	コウノトリ野生復帰推	P39
块克至	態、構成樹種の多様性、階層構造、営巣木の	進計画(2期)	1.99
	確保等に配慮した整備)		
	多様な生きものが住みやすい環境を増やし		
環境保全	ます。	豊岡市生物多様性地域	P32、P39~P45
利活用	(コウノトリの生息地保全の推進、ラムサー	戦略	1 34、 1 39 ~ 1 4 3
	ルエリアの活用、外来種対策、希少種保護)		
	地域を支える第一次産業を育てます。	豊岡市生物多様性地域	
環境保全	(環境創造型農業の拡大、田んぼや水路の生	宣岡川生物多塚性地域 戦略	P32、P39∼P45
	態系機能の向上、世代間の連携等)	牧岭	

2.2.3 気比·畑上地区

自然環境保全や自然資源の利活用について策定されている計画や方針のうち、「気比・畑上地区」に関連する情報は、表 2.2.3 のように抽出された。

表 2.2.3(1) 「気比・畑上地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境整備	環境創造型農業の面的拡大が、地域農業の活性化を図ると同時に、コウノトリも住める環境の整備に大きく貢献する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P21
環境整備	転作田の常時湛水によるビオトープ化と稲作 栽培体系を常時湛水化(冬季湛水・中干し延 期型)に誘導することにより、水田の餌場と しての機能を増進する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P27
環境整備	森林の広がり、森林の連続性、モザイク状態、 構成樹種の多様性、階層構造、営巣木の確保 などに配慮した里山林の整備を目指す必要が ある。	コウノトリ野生復帰推進計画	P33
利活用	コウノトリの野生復帰に向けて、コウノトリの絶滅・保護増殖の経緯や野生復帰に向けた環境整備等の取り組み等を、県内外に周知を図り多くの人たちに理解を得るとともに、参画と協働により事業の推進を図ることが不可欠である。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P35
環境保全	市民、事業者、来訪者及び市は、環境の保全 に関し自主的に及び地域等において相互の協 力し、それぞれができることに取り組む	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第4条
環境保全	自然的資源、文化的資源及び歴史的資源に関する理解を深めることにより、それらを良好な状態で保全する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条1項
環境保全	良好な自然環境を保存、再生及び創造することにより、人と生きものが将来にわたってバランスよく共生するまちづくりを推進する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条2項
環境保全	市民、事業者及び市が連携して資源の無駄遣いをなくし、循環型のまちづくりを推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条3項
環境保全	子どもたちに環境の大切さを伝えるととも に、市民及び事業者の環境に関する意識を高 めることにより、環境にやさしい人づくりを 推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条4項
環境保全	環境の保全に関する活動と経済活動の共鳴を 図ることにより、環境の保全に関する活動を 持続的に推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条5項



表 2.2.3(2) 「気比・畑上地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境保全	前各号に掲げる事項その他環境の保全の ために必要な事項を推進することにより、 地球環境の保全に貢献する	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条6項
環境保全 環境整備	森林を保全し、活用します。(地元の木を 使った家・ものづくり、針葉樹と広葉樹の 混交林整備)	豊岡市環境基本計画	P44
環境保全	農業を将来にわたって維持します。 (環境創造型農業の推進、有害鳥獣の駆除・防除)	豊岡市環境基本計画	P46
環境保全	生きものがバランス良く生息する自然環境を保全します。 (それぞれの生きものがその生きものらしく生息できる環境の保全、放鳥されたコウノトリの受け皿づくり)	豊岡市環境基本計画	P47
環境保全	環境に関する知の集積を図ります。 (先駆的な研究の促進)	豊岡市環境基本計画	P53
利活用	環境と経済の共鳴を進めます。 (コウノトリツーリズムの展開、環境経済型企業の集積)	豊岡市環境基本計画	P55
環境保全 環境整備	コウノトリも住める環境の保全と創出 (農地保全、環境にやさしい農業の推進、 河川[円山川、気比川、今津川等]の河川環 境整備)	豊岡市都市計画マスタープラン	P67
環境保全	環境創造型農業等の推進 (営巣地近辺へのビオトープ配置、コウノ トリ育む農法等の生きものに優しい安全、 安心な米作り、マルチトープの活用)	コウノトリ野生復帰 推進計画 (2 期)	P35
環境整備	水系から水田等への連続性の確保 (水田魚道の設置、水田魚道の管理)	コウノトリ野生復帰 推進計画 (2 期)	P36
環境整備	自然と共生する里山林の整備 (森林の広がり、森林の連続性、モザイク 状態、構成樹種の多様性、階層構造、営巣 木の確保等に配慮した整備)	コウノトリ野生復帰 推進計画(2期)	P39
環境保全 利活用	多様な生きものが住みやすい環境を増やします。 (コウノトリの生息地保全の推進、ラムサールエリアの活用、外来種対策、希少種保護)	豊岡市生物多様性地 域戦略	P32、P39∼P45
環境保全	地域を支える第一次産業を育てます。 (環境創造型農業の拡大、田んぼや水路の 生態系機能の向上、世代間の連携等)	豊岡市生物多様性地 域戦略	P32、P39∼P45

2.2.4 楽々浦地区

自然環境保全や自然資源の利活用について策定されている計画や方針のうち、「楽々浦地区」 に関連する情報は、表 2.2.4 のように抽出された。

表 2.2.4(1) 「楽々浦地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境整備	環境創造型農業の面的拡大が、地域農業の活性化を図ると同時に、コウノトリも住める環境の整備に大きく貢献する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P21
環境整備	転作田の常時湛水によるビオトープ化と稲作 栽培体系を常時湛水化(冬季湛水・中干し延 期型)に誘導することにより、水田の餌場と しての機能を増進する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P27
環境整備	森林の広がり、森林の連続性、モザイク状態、 構成樹種の多様性、階層構造、営巣木の確保 などに配慮した里山林の整備を目指す必要が ある。	コウノトリ野生復帰推進計画	P33
利活用	コウノトリの野生復帰に向けて、コウノトリの絶滅・保護増殖の経緯や野生復帰に向けた環境整備等の取り組み等を、県内外に周知を図り多くの人たちに理解を得るとともに、参画と協働により事業の推進を図ることが不可欠である。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P35
環境保全	市民、事業者、来訪者及び市は、環境の保全 に関し自主的に及び地域等において相互の協 力し、それぞれができることに取り組む	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第4条
環境保全	自然的資源、文化的資源及び歴史的資源に関 する理解を深めることにより、それらを良好 な状態で保全する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条1項
環境保全	良好な自然環境を保存、再生及び創造することにより、人と生きものが将来にわたってバランスよく共生するまちづくりを推進する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条2項
環境保全	市民、事業者及び市が連携して資源の無駄遣いをなくし、循環型のまちづくりを推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条3項
環境保全	子どもたちに環境の大切さを伝えるととも に、市民及び事業者の環境に関する意識を高 めることにより、環境にやさしい人づくりを 推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条4項
環境保全	環境の保全に関する活動と経済活動の共鳴を 図ることにより、環境の保全に関する活動を 持続的に推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条5項



「楽々浦地区」に関係する自然環境に係る計画等 表 2.2.4(2)

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
	前各号に掲げる事項その他環境の保全のため	豊岡市コウノトリと共	
環境保全	に必要な事項を推進することにより、地球環	に生きるまちづくりの	第5条6項
	境の保全に貢献する	ための環境基本条例	
严 运 / 1	森林を保全し、活用します。(地元の木を使っ		
環境保全	た家・ものづくり、針葉樹と広葉樹の混交林	豊岡市環境基本計画	P44
環境整備	整備)		
	川や海などの水辺環境を保全します。		
環境保全	(たくさんの魚や水生昆虫・貝などがいる水	豊岡市環境基本計画	P45
	辺(川辺・海辺)の保全)		
	農業を将来にわたって維持します。		
環境保全	(環境創造型農業の推進、有害鳥獣の駆除・	豊岡市環境基本計画	P46
	防除)		
	生きものがバランス良く生息する自然環境を		
	保全します。		
環境保全	(それぞれの生きものがその生きものらしく	豊岡市環境基本計画	P47
	生息できる環境の保全、放鳥されたコウノト		
	リの受け皿づくり)		
~m 1-2 /D A	環境に関する知の集積を図ります。	#57-49-4-1-1-7	D=0
環境保全	(先駆的な研究の促進)	豊岡市環境基本計画	P53
	環境と経済の共鳴を進めます。		
利活用	(コウノトリツーリズムの展開、環境経済型	豊岡市環境基本計画	P55
	企業の集積)		
	コウノトリも住める環境の保全と創出		
環境保全	(農地保全、環境にやさしい農業の推進、河	豊岡市都市計画マスタ	D.C.T.
環境整備	川[円山川、気比川、今津川等]の河川環境整	ープラン	P67
	備)		
	環境創造型農業等の推進		
严 (支力 人	(営巣地近辺へのビオトープ配置、コウノト	コウノトリ野生復帰推	DOF
環境保全	リ育む農法等の生きものに優しい安全、安心	進計画(2期)	P35
	な米作り、マルチトープの活用)		
一世 14年 14年 14年	水系から水田等への連続性の確保	コウノトリ野生復帰推	DOC
環境整備	(水田魚道の設置、水田魚道の管理)	進計画 (2期)	P36
	自然と共生する里山林の整備		
理坛献准	(森林の広がり、森林の連続性、モザイク状	コウノトリ野生復帰推	DOO
環境整備	態、構成樹種の多様性、階層構造、営巣木の	進計画 (2期)	P39
	確保等に配慮した整備)		
[多様な生きものが住みやすい環境を増やしま	,	
環境保全	す。	豊岡市生物多様性地域	D90 D90 - D45
利活用	(コウノトリの生息地保全の推進、ラムサー	戦略	P32、P39∼P45
	ルエリアの活用、外来種対策、希少種保護)		
[地域を支える第一次産業を育てます。	曲国士出版办法基本出	
環境保全	(環境創造型農業の拡大、田んぼや水路の生	豊岡市生物多様性地域	P32、P39∼P45
	態系機能の向上、世代間の連携等)	戦略	

2.2.5 戸島地区

自然環境保全や自然資源の利活用について策定されている計画や方針のうち、「戸島地区」に 関連する情報は、表 2.2.5 のように抽出された。

表 2.2.5(1) 「戸島地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境整備	環境創造型農業の面的拡大が、地域農業の活性 化を図ると同時に、コウノトリも住める環境の 整備に大きく貢献する。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P21
環境整備	転作田の常時湛水によるビオトープ化と稲作 栽培体系を常時湛水化(冬季湛水・中干し延期 型)に誘導することにより、水田の餌場として の機能を増進する。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P27
環境整備	森林の広がり、森林の連続性、モザイク状態、 構成樹種の多様性、階層構造、営巣木の確保な どに配慮した里山林の整備を目指す必要があ る。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P33
利活用	コウノトリの野生復帰に向けて、コウノトリの 絶滅・保護増殖の経緯や野生復帰に向けた環境 整備等の取り組み等を、県内外に周知を図り多 くの人たちに理解を得るとともに、参画と協働 により事業の推進を図ることが不可欠である。	コウノトリ野生復帰 推進計画	P35
環境保全	市民、事業者、来訪者及び市は、環境の保全に関し自主的に及び地域等において相互の協力し、それぞれができることに取り組む	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第4条
環境保全	自然的資源、文化的資源及び歴史的資源に関す る理解を深めることにより、それらを良好な状態で保全する。	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条1項
環境保全	良好な自然環境を保存、再生及び創造すること により、人と生きものが将来にわたってバラン スよく共生するまちづくりを推進する。	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条2項
環境保全	市民、事業者及び市が連携して資源の無駄遣いをなくし、循環型のまちづくりを推進する	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条3項
環境保全	子どもたちに環境の大切さを伝えるとともに、 市民及び事業者の環境に関する意識を高める ことにより、環境にやさしい人づくりを推進す る	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条4項



「戸島地区」に関係する自然環境に係る計画等 表 2.2.5(2)

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境保全	環境の保全に関する活動と経済活動の共鳴を図ることにより、環境の保全に関する活動を持続的 に推進する	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条5項
環境保全	前各号に掲げる事項その他環境の保全のために 必要な事項を推進することにより、地球環境の保 全に貢献する	豊岡市コウノトリと 共に生きるまちづく りのための環境基本 条例	第5条6項
環境保全	森林を保全し、活用します。(地元の木を使った	豊岡市環境基本計画	P44
環境整備	家・ものづくり、針葉樹と広葉樹の混交林整備)	豆岡印來先至平町画	1 44
環境保全	農業を将来にわたって維持します。 (環境創造型農業の推進、有害鳥獣の駆除・防除)	豊岡市環境基本計画	P46
環境保全	生きものがバランス良く生息する自然環境を保全します。 (それぞれの生きものがその生きものらしく生息できる環境の保全、放鳥されたコウノトリの受け皿づくり)	豊岡市環境基本計画	P47
環境保全	環境に関する知の集積を図ります。 (先駆的な研究の促進)	豊岡市環境基本計画	P53
利活用	環境と経済の共鳴を進めます。 (コウノトリツーリズムの展開、環境経済型企業 の集積)	豊岡市環境基本計画	P55
環境保全 環境整備	コウノトリも住める環境の保全と創出 (農地保全、環境にやさしい農業の推進、河川[円 山川、気比川、今津川等]の河川環境整備)	豊岡市都市計画マスタープラン	P67
環境保全	環境創造型農業等の推進 (営巣地近辺へのビオトープ配置、コウノトリ育 む農法等の生きものに優しい安全、安心な米作 り、マルチトープの活用)	コウノトリ野生復帰 推進計画(2期)	P35
環境整備	水系から水田等への連続性の確保 (水田魚道の設置、水田魚道の管理)	コウノトリ野生復帰 推進計画 (2 期)	P36
環境整備	自然と共生する里山林の整備 (森林の広がり、森林の連続性、モザイク状態、 構成樹種の多様性、階層構造、営巣木の確保等に 配慮した整備)	コウノトリ野生復帰 推進計画(2期)	P39
環境保全 利活用	多様な生きものが住みやすい環境を増やします。 (コウノトリの生息地保全の推進、ラムサールエ リアの活用、外来種対策、希少種保護)	豊岡市生物多様性地 域戦略	P32 、P39 ∼ P45
環境保全	地域を支える第一次産業を育てます。 (環境創造型農業の拡大、田んぼや水路の生態系 機能の向上、世代間の連携等)	豊岡市生物多様性地 域戦略	P32、P39∼P45

2.2.6 桃島地区

自然環境保全や自然資源の利活用について策定されている計画や方針のうち、「桃島地区」に 関連する情報は、表 2.2.6 のように抽出された。

表 2.2.6(1) 「桃島地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	記載ページ	
			等
環境整備	環境創造型農業の面的拡大が、地域農業の活性化を図ると同時に、コウノトリも住める環境の整備に大きく貢献する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P21
環境整備	転作田の常時湛水によるビオトープ化と稲作 栽培体系を常時湛水化(冬季湛水・中干し延 期型)に誘導することにより、水田の餌場と しての機能を増進する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P27
利活用	コウノトリの野生復帰に向けて、コウノトリの絶滅・保護増殖の経緯や野生復帰に向けた環境整備等の取り組み等を、県内外に周知を図り多くの人たちに理解を得るとともに、参画と協働により事業の推進を図ることが不可欠である。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P35
環境保全	市民、事業者、来訪者及び市は、環境の保全 に関し自主的に及び地域等において相互の協 力し、それぞれができることに取り組む	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第4条
環境保全	自然的資源、文化的資源及び歴史的資源に関する理解を深めることにより、それらを良好な状態で保全する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条1項
環境保全	良好な自然環境を保存、再生及び創造することにより、人と生きものが将来にわたってバランスよく共生するまちづくりを推進する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条2項
環境保全	市民、事業者及び市が連携して資源の無駄遣いをなくし、循環型のまちづくりを推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条3項
環境保全	子どもたちに環境の大切さを伝えるととも に、市民及び事業者の環境に関する意識を高 めることにより、環境にやさしい人づくりを 推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条4項
環境保全	環境の保全に関する活動と経済活動の共鳴を 図ることにより、環境の保全に関する活動を 持続的に推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条5項
環境保全	前各号に掲げる事項その他環境の保全のため に必要な事項を推進することにより、地球環 境の保全に貢献する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条6項



表 2.2.6(2) 「桃島地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境保全	川や海などの水辺環境を保全します。 (たくさんの魚や水生昆虫・貝などがいる水 辺(川辺・海辺)の保全)	豊岡市環境基本計画	P45
環境保全	生きものがバランス良く生息する自然環境を保全します。 (それぞれの生きものがその生きものらしく生息できる環境の保全、放鳥されたコウノトリの受け皿づくり)	豊岡市環境基本計画	P47
環境保全	環境に関する知の集積を図ります。 (先駆的な研究の促進)	豊岡市環境基本計画	P53
利活用	環境と経済の共鳴を進めます。 (コウノトリツーリズムの展開、環境経済型 企業の集積)	豊岡市環境基本計画	P55
環境保全環境整備	コウノトリも住める環境の保全と創出 (農地保全、環境にやさしい農業の推進、河 川[円山川、気比川、今津川等]の河川環境整 備)	豊岡市都市計画マスタープラン	P67
環境保全	環境創造型農業等の推進 (営巣地近辺へのビオトープ配置、コウノト リ育む農法等の生きものに優しい安全、安心 な米作り、マルチトープの活用)	コウノトリ野生復帰推 進計画 (2 期)	P35
環境整備	水系から水田等への連続性の確保 (水田魚道の設置、水田魚道の管理)	コウノトリ野生復帰推 進計画 (2 期)	P36
環境保全 利活用	多様な生きものが住みやすい環境を増やします。 (コウノトリの生息地保全の推進、ラムサールエリアの活用、外来種対策、希少種保護)	豊岡市生物多様性地域 戦略	P32、P39∼P45
環境保全	地域を支える第一次産業を育てます。 (環境創造型農業の拡大、田んぼや水路の生 態系機能の向上、世代間の連携等)	豊岡市生物多様性地域 戦略	P32、P39∼P45



2.2.7 立野・梶原・百合地・河谷・中谷地区

自然環境保全や自然資源の利活用について策定されている計画や方針のうち、「立野・梶原・百合地・河谷・中谷地区」に関連する情報は、表 2.2.7 のように抽出された。

表 2.2.7(1) 「立野・梶原・百合地・河谷・中谷地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境整備	環境創造型農業の面的拡大が、地域農業の活性化を図ると同時に、コウノトリも住める環境の整備に大きく貢献する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P21
環境整備	転作田の常時湛水によるビオトープ化と稲作 栽培体系を常時湛水化(冬季湛水・中干し延 期型)に誘導することにより、水田の餌場と しての機能を増進する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P27
利活用	コウノトリの野生復帰に向けて、コウノトリの絶滅・保護増殖の経緯や野生復帰に向けた環境整備等の取り組み等を、県内外に周知を図り多くの人たちに理解を得るとともに、参画と協働により事業の推進を図ることが不可欠である。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P35
環境整備	横断工作物や樋門の落差の解消による河川の 縦断方向や六方田んぼとの連続性の確保を行 うとともに、堤体機能を確保しつつ、護岸の 多自然化等により自然環境の再生に取り組 む。	円山川水系自然再生計 画書	P13
環境保全	市民、事業者、来訪者及び市は、環境の保全 に関し自主的に及び地域等において相互の協 力し、それぞれができることに取り組む	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第4条
環境保全	自然的資源、文化的資源及び歴史的資源に関 する理解を深めることにより、それらを良好 な状態で保全する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条1項
環境保全	良好な自然環境を保存、再生及び創造することにより、人と生きものが将来にわたってバランスよく共生するまちづくりを推進する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条2項
環境保全	市民、事業者及び市が連携して資源の無駄遣 いをなくし、循環型のまちづくりを推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条3項
環境保全	子どもたちに環境の大切さを伝えるとともに、市民及び事業者の環境に関する意識を高めることにより、環境にやさしい人づくりを推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条4項
環境保全	環境の保全に関する活動と経済活動の共鳴を 図ることにより、環境の保全に関する活動を 持続的に推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条5項



「立野・梶原・百合地・河谷・中谷地区」に関係する自然環境に係る計画等 表 2.2.7(2)

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
	前各号に掲げる事項その他環境の保全のため	豊岡市コウノトリと共	
環境保全	に必要な事項を推進することにより、地球環	に生きるまちづくりの	第5条6項
	境の保全に貢献する	ための環境基本条例	
	川や海などの水辺環境を保全します。		
環境保全	(たくさんの魚や水生昆虫・貝などがいる水	豊岡市環境基本計画	P45
	辺(川辺・海辺)の保全)		
	農業を将来にわたって維持します。	# - 1. m / - + 1 - 1 - 1	
環境保全	(環境創造型農業の推進、有害鳥獣の駆除・	豊岡市環境基本計画	P46
	防除)		
	生きものがバランス良く生息する自然環境を		
	保全します。	典國士德成士士司云	D 47
環境保全	(それぞれの生きものがその生きものらしく	豊岡市環境基本計画	P47
	生息できる環境の保全、放鳥されたコウノト		
	リの受け皿づくり) 		
環境保全	環境に関する知の集積を図ります。	豊岡市環境基本計画	P53
 	(先駆的な研究の促進) 		
利活用	環境と経済の共鳴を進めます。 (コウノトリツーリズムの展開、環境経済型	豊岡市環境基本計画	P55
个月百月	(コリノドリノーリハムの展開、原現程併生 企業の集積)	豆则川垛児盆平計四	F 55
	ユポンポリン コウノトリも住める環境の保全と創造		
環境保全	(自然環境の維持、コウノトリの郷公園の充	豊岡市都市計画マスタ	
環境整備	実化、水辺環境の保全・創出、観光・環境学	ープラン	P59
利活用	習・レクリエーションの場の確保)	, , , ,	
	環境創造型農業等の推進		
	(営巣地近辺へのビオトープ配置、コウノト	コウノトリ野生復帰推	
環境保全	リ育む農法等の生きものに優しい安全、安心	進計画 (2期)	P35
	な米作り、マルチトープの活用)	_,,,,	
	水系から水田等への連続性の確保	コウノトリ野生復帰推	Do a
環境整備	(水田魚道の設置、水田魚道の管理)	進計画 (2期)	P36
	多様な生きものが住みやすい環境を増やしま		
環境保全	す。	豊岡市生物多様性地域	D00 D00 D45
利活用	(コウノトリの生息地保全の推進、ラムサー	戦略	P32、P39∼P45
	ルエリアの活用、外来種対策、希少種保護)		
	地域を支える第一次産業を育てます。	典国古开肠夕埃州地域	
環境保全	(環境創造型農業の拡大、田んぼや水路の生	豊岡市生物多様性地域 戦略	P32、P39∼P45
	態系機能の向上、世代間の連携等)	10000000000000000000000000000000000000	



2.2.8 倉見·伊豆·安良地区

自然環境保全や自然資源の利活用について策定されている計画や方針のうち、「倉見・伊豆・ 安良地区」に関連する情報は、表 2.2.8 のように抽出された。

表 2.2.8(1) 「倉見・伊豆・安良地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境整備	環境創造型農業の面的拡大が、地域農業の活性化を図ると同時に、コウノトリも住める環境の整備に大きく貢献する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P21
環境整備	転作田の常時湛水によるビオトープ化と稲作 栽培体系を常時湛水化(冬季湛水・中干し延 期型)に誘導することにより、水田の餌場と しての機能を増進する。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P27
利活用	コウノトリの野生復帰に向けて、コウノトリの絶滅・保護増殖の経緯や野生復帰に向けた環境整備等の取り組み等を、県内外に周知を図り多くの人たちに理解を得るとともに、参画と協働により事業の推進を図ることが不可欠である。	コウノトリ野生復帰推 進計画	P35
環境整備	水際部を水平、あるいは緩い勾配で掘削、造成することによって、湿地及び環境遷移帯を 再生・創出する	円山川水系自然再生計 画書	P10
環境保全	市民、事業者、来訪者及び市は、環境の保全 に関し自主的に及び地域等において相互の協 力し、それぞれができることに取り組む	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第4条
環境保全	自然的資源、文化的資源及び歴史的資源に関 する理解を深めることにより、それらを良好 な状態で保全する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条1項
環境保全	良好な自然環境を保存、再生及び創造することにより、人と生きものが将来にわたってバランスよく共生するまちづくりを推進する。	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条2項
環境保全	市民、事業者及び市が連携して資源の無駄遣 いをなくし、循環型のまちづくりを推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条3項
環境保全	子どもたちに環境の大切さを伝えるとともに、市民及び事業者の環境に関する意識を高めることにより、環境にやさしい人づくりを推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条4項
環境保全	環境の保全に関する活動と経済活動の共鳴を 図ることにより、環境の保全に関する活動を 持続的に推進する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条5項
環境保全	前各号に掲げる事項その他環境の保全のため に必要な事項を推進することにより、地球環 境の保全に貢献する	豊岡市コウノトリと共 に生きるまちづくりの ための環境基本条例	第5条6項



表 2.2.8(2) 「倉見・伊豆・安良地区」に関係する自然環境に係る計画等

分類	内容	計画等の名称	記載ページ等
環境保全	川や海などの水辺環境を保全します。 (たくさんの魚や水生昆虫・貝などがいる水 辺(川辺・海辺)の保全)	豊岡市環境基本計画	P45
環境保全	農業を将来にわたって維持します。 (環境創造型農業の推進、有害鳥獣の駆除・ 防除)	豊岡市環境基本計画	P46
環境保全	生きものがバランス良く生息する自然環境を保全します。 (それぞれの生きものがその生きものらしく生息できる環境の保全、放鳥されたコウノトリの受け皿づくり)	豊岡市環境基本計画	P47
環境保全	環境に関する知の集積を図ります。 (先駆的な研究の促進)	豊岡市環境基本計画	P53
利活用	環境と経済の共鳴を進めます。 (コウノトリツーリズムの展開、環境経済型 企業の集積)	豊岡市環境基本計画	P55
環境保全 環境整備 利活用	コウノトリも住める環境の保全と創造 (自然環境の維持、コウノトリの郷公園の充 実化、水辺環境の保全・創出、観光・環境学 習・レクリエーションの場の確保)	豊岡市都市計画マスタープラン	P59
環境保全	環境創造型農業等の推進 (営巣地近辺へのビオトープ配置、コウノト リ育む農法等の生きものに優しい安全、安心 な米作り、マルチトープの活用)	コウノトリ野生復帰推 進計画 (2 期)	P35
環境整備	水系から水田等への連続性の確保 (水田魚道の設置、水田魚道の管理)	コウノトリ野生復帰推 進計画(2期)	P36
環境保全 利活用	多様な生きものが住みやすい環境を増やします。 (コウノトリの生息地保全の推進、ラムサー ルエリアの活用、外来種対策、希少種保護)	豊岡市生物多様性地域 戦略	P32、P39∼P45
環境保全	地域を支える第一次産業を育てます。 (環境創造型農業の拡大、田んぼや水路の生 態系機能の向上、世代間の連携等)	豊岡市生物多様性地域 戦略	P32、P39∼P45

3. G I S 区域図の作成

3.1 収集した図面

GIS区域図の元データとして、以下の情報を購入した。また、国土交通省豊岡河川国道事務所より、直轄管理区間の平面図の提供を受けた。

表 3.1.1 GIS区域図の背景図として用いた情報

商品名	発行元	発売年月
電子住宅地図デジタウン 豊岡市1(豊岡)	株式会社ゼンリン	2016年06月
電子住宅地図デジタウン 豊岡市 2 (城崎・竹野)	株式会社ゼンリン	2014年06月
平面図(直轄管理区間)	国土交通省 豊岡河川国道事務所	-

3.2 作成したGIS区域図

作成したGIS区域図は、別途納品したとおりである。

リサイクル適性の表示:印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材質 [A ランク] のみを用いて作製しています。